

♪Rin♪♪Tan♪♪Kei♪♪

しるばータイムス @しまね

Vol. **7**
令和2年
10月発行

目次

CONTENTS

- センター紹介「公益社団法人 雲南市シルバー人材センター」・・・1・2
- シルバー人材センターのプチワーク.....3
- どんどん広がる子育て分野でのプチワーク.....4
- with コロナ時代に対応 シルバー人材センターの活動.....5
- Information・賛助会員のご紹介「雲南市」.....6



瑞風グリーンが走り コウノトリが舞う 雲南市

雲南市は島根県の東部に位置し、唯一海に面していない内陸の市です。平成16年11月1日に、旧大原郡大東町、加茂町、木次町、旧飯石郡三万屋町、掛合町、吉田村の六町村が新設合併して、現在の雲南市が誕生しました。市名の由来は、律令国の出雲国南部に位置することから雲南市と名付けられました。

観光スポットは文化史跡・遺跡で、日本で唯一保存されているたたら「荻谷高殿」、39個の銅鐸が出土した「加茂岩倉遺跡」、「日本初之宮」とされる須我神社、そして、木次線走る観光トロッコ列車「奥出雲おろち号」等々、神話とロマンあふれる見どころ満載の雲南市です。

雲南市での近年の大きな話題を、「走る」と「飛ぶ」をテーマにご紹介します。

最初に、「走るホテル」と言われています西日本旅客鉄道の超豪華特別寝台列車（クルーズトレイン）「トワイライトエクスプレス瑞風」が平成29年6月17日に山陽・山陰コースでデビューしました。列車名の瑞風とは「みずみずしい風」のことで、「吉兆を表すめでたい風」と言う意味を併せもつ、幸せを運んでくる情景をイメージしています。そして色は、瑞風グリーンと呼ばれる深緑色のボデーの中央に瑞風のエンブレムと金色の帯が上品な印象の車両です。



トワイライトエクスプレス瑞風

停車駅からの立ち寄り観光の際には、「瑞風バス」が運行されます。このバスも列車同様に豪華なバスです。この「瑞風バス」による雲南市への立ち寄り観光が決定し、平成29年6月22日に初運行されました。

雲南市に良い印象を持つていたために、市民に瑞風バスへの「手ふり・旗ふり」が推進されています。

今年、新型コロナウイルス感染拡大により3月以降は運行されていませんが、現在はドック入りして点検・整備、塗装工事等が行われており、運行再開が待ち遠しいところです。



「瑞風バス」を市民が歓迎



コウノトリ

次に、「幸せを運ぶ」と言われている日本では貴重な「国の特別天然記念物コウノトリ」です。以前には日本全国に生息していましたが、環境汚染や密猟が原因で、昭和46年に国内の野生繁殖個体は消滅しました。その後人口繁殖に成功し、兵庫県立コウノトリの郷公園（豊岡市）が、平成17年に野外への放鳥を開始し野生復帰が実現されました。これにより、平成29年春に雲南市の上空を舞う二羽のコウノトリが確認され、現在も雲南の地で営巣・繁殖が行われています。

雲南市は、コウノトリによって、偶然ではなく自然豊かな餌場環境があることがこの四年間で実証されたと分析しています。将来に向けた環境整備を進め、雲南市のブランド価値の向上を目指しています。

自然豊かな神話とロマンあふれる雲南市にぜひ足を運んでみて下さい。

（文：公益社団法人 雲南市シルバー人材センター 理事 高木 伴雄）

雲南市シルバー人材センター



放課後児童クラブ事業を開始

雲南市シルバー人材センターでは、子育て中の現役世代や子供たちへの支援活動に取り組んでいます。

令和2年4月1日から雲南市より受託し、斐伊児童クラブとして放課後児童クラブ事業を開始しました。

目的

放課後児童クラブは、保護者の就労支援等を目的とし、児童に対しては授業終了後や夏休みなどの長期休業期間中に適切な遊び生活の場を提供し、健全な育成を図るために設置された施設です。



現在下校後、クラブでのおやつタイムです。

斐伊児童クラブ

●職場紹介

- 開所日**
- 平日(月～金曜日) 14:00～18:00
 - 土曜日(希望者) 8:00～18:00
 - 夏・冬・春休み 8:00～18:00
 - 学校の振替休業日 8:00～18:00

閉所日 日曜日、祝日、お盆、年末年始

●スタッフ・子供たち

会員8人、臨時職員1人でローテーションを組んで就業しています。(4～5人/日)

定員は70人で、通常、斐伊小学校に通う児童約50人の登録があります。

夏休みなど長期休業期間中は、70人位/日になる日もありますが、子供たちは、狭い空間を上手に使いながら規律正しく元気に生活しています。

いつもと違う夏休み

～斐伊児童クラブ7・8月の状況について～

今年の夏休みは、定員70人に対し64人の児童の登録があり、子どもたちは毎日児童クラブで勉強したり遊んだり賑やかに過ごしています。

支援員も毎日7人体制で日々子供たちが安全に楽しく過ごせるよう心配りをしながら見守りをしています。また、今年度は子供たちが外でも安全に遊べるよう砂場を整備し、夏の猛暑による熱中症対策のため、砂場の上にテントを設置しました。

さらに、庭の一部に家庭菜園用のスペースも設けて少しですが野菜を育てることもできるようになりました。



砂場・テントを整備



夏休みの様子

この他年間の活動として遠足や夏場のプール遊びなどがありますが、今年はコロナ対策でそうした活動は全て中止となり、また緊急事態宣言中は人数制限を行ったり子供たちにとっては楽しみの少ない年となっているのが残念です。

今後もうこうした活動を通して子供たちが安心して過ごせる場所を提供することで健全な育成に少しでも寄与できればと思っています。

文・斐伊児童クラブ施設長
公益社団法人 雲南市シルバー人材センター 会員 金森 憲吉

いきいきシニアが
企業をサポート

シルバー
人材センターの

プチワーク

シニアのプチ勤務は
正社員の長時間勤務の削減に効果



2月19日島根県民会館で、県内の事業主を対象とした高齢者活用セミナー2020を開催しました。その中でご講演いただいた(株)リクルートジョブズのジョブズリサーチセンター 宇佐川センター長の調査によると、60歳以上のシニア層の多くが希望する勤務日数は週3〜4日、勤務時間は3〜5時間とのことでした。その一方で、人手不足で労働力が確保できない企業にあっても、シニアが希望する働き方（プチ

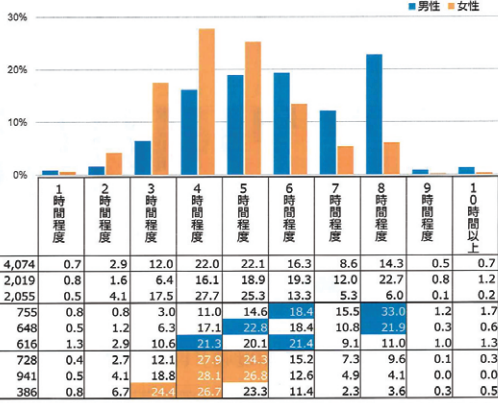
勤務）が戦力として活用できれば、正社員の長時間勤務の削減に効果があると、ホームセンターやコンビニエンスストア、介護施設などでの事例が紹介されました。

希望する勤務時間

シニア JOBS Research Center

3〜5時間程度が半数。特に女性と70歳以上男性ところが、60代男性は8時間が3割

(SA、対象者：今後「ぜひ就労したい」～「どちらでもない」と回答した人)



出典：リクルートジョブズ「シニア層の就業実態・意識調査 2018 個人層60~74歳」

※宇佐川センター長の資料「高齢者活用への課題とその解決に向けた新たな取り組み」より抜粋



「臨・短・軽」



シルバー人材センターでの就業は、「臨時的かつ短期的、または軽易な業務の範囲」と定められています。企業からの人材募集に「シフトの細分化」や「業務の選別・切り出し」を行うことで、会員ひとりひとりが働きやすいようにアレンジして対応します。時期限定の一次的な業務や一日だけのスポットでの業務、また一月の中でも繁忙期だけの臨時的な業務や朝夕だけの短時間での業務を希望される企業にも好評です。人手不足分野と言われる子育てや介護の分野でも、企業をサポートするシルバー人材センターのプチワークはお役に立っています。

シルバー人材センターは
まさにプチ勤務（ワーク）

どんどん広がる 子育て分野での プチワーク



隠岐分室 シルバー派遣事業担当 国生コーディネーター



今回派遣就業を開始することになった
隠岐養護学校内にある「しおさいクラブ」様



パソコンを使用する生徒さんを見守ります

隠岐養護学校保護者会
しおさいクラブ様の『ハッ
ピーアフタースクール事業』
ではスタッフの確保が難し
いことから週に2〜3日し
かオープンできないとのこと
と。そこで、シルバー派遣事
業をご提案し、会員と緒に
就業現場の見学をさせてい
ただきました。業務内容や
雰囲気もよくわかり、相談
を重ねた結果、週1回の放

課後2時間半の就業「プチ
ワーク」となりました。
初めての就業日。「私で大
丈夫かしら？」と緊張して
いた会員も、派遣先の担当
者の方の温かいサポート
に、しだいに笑顔がほころ
んできました。
しおさいクラブ様を弾み
に、これから人材確保に
お困りの企業のお力になれ
たらと思っています。

中山間地域・離島においてシ
ルバー派遣事業を推進するた
め、本年1月に隠岐分室を開
所。この9月には、隠岐の島町で
初のシルバー派遣就業がスター
トしました。

隠岐の島町で
シルバー
派遣事業が
スタート!



隠岐分室 開所式(令和2年1月)

学童保育補助スタッフ育成講習



初日は「子育て支援者の役割と
心構えについて」



子育て支援員研修
(基本・放課後児童コース)に
準じたカリキュラム

人材を必要としている放
課後児童クラブ・保育園な
どと、プチワークを希望す
るシニアを結びつけるきつ
かけとなる技能講習を県内各
地で開催しています。今年
度は新たに「学童保育補助
スタッフ育成講習」も開催
し、乳幼児に加え需要が増
加している学童保育まで幅
広く対応できるよう力を入
れています。
さらに、「島根創生計画」
において、結婚・出産・子育
てへの様々な支援が行われて

子育て分野のサポーターを 育成する技能講習等

産前・産後サポーター認定講習



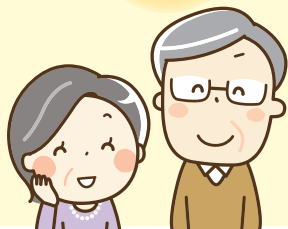
今どきの子育てとは？
お世話の仕方を実習で学びます



牛乳パックや新聞紙で
簡単おもちゃ作りも

いる中、島根県から委託を
受け、産前産後の時期にあ
るご家庭の家事・育児を支
援するための「産前・産後
訪問サポーター認定講習」を
開催し、各地域で担い手の養
成を始めています。
受講者からは、「地域の子
供がすくすく育っていくこと
に少しでも手助けが出来れば
嬉しいです」、「クライアン
トの役に立ちたい」という思
いで仕事をやる姿勢が大切
だと理解できました」といっ
た感想が寄せられました。

withコロナ時代に対応 シルバー人材センターの活動



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、社会全体に「新しい生活様式」が求められています。シルバー人材センターにも企業・学校・一般家庭等から新たな依頼が寄せられており、各センターで地域の実情を踏まえた取り組みが始まっています。

マスク作り

手作りマスク販売中



会員の手作りです。
シルバー駅前サロンで好評販売中です。
(益田市シルバー人材センター)

絆作った布マスク製作



マスク不足の中、企業からの大量の依頼に「社会貢献!」と、多くの会員が手を挙げて製作しました。
(松江市シルバー人材センター)

申込増加にも迅速対応



帰省自粛等により、昨年よりも墓掃除や屋外作業の申込が増えています。連日の猛暑の中、島のあちこちで作業を行い、島の内外で笑顔の花が咲きました。
(隠岐の島町シルバー人材センター)

安来第一中学校 校舎内除菌作業



放課後の1時間。
2名1組で、丁寧に
除菌作業をしています。
(安来市シルバー人材センター)

除菌・清掃・ 墓掃除



学校・児童 クラブ

放課後 児童クラブ での見守り



子供たちが外でのびのび過ごせるよう見守っています。
(津和野町シルバー人材センター)

観光施設 再開



松江城天守閣の登閣再開に合わせ、5月27日に会員によるボランティア清掃を実施しました。
(松江市シルバー人材センター)

松江城の ボランティア清掃

Information

シルバー派遣事業をご活用・ご検討の事業主のみなさま

比較対象労働者の待遇に関する 情報提供のお願い

令和2年4月1日から、派遣労働者の同一労働同一賃金実現に向けた改正労働者派遣法が施行されました。これに伴い、令和2年4月1日以降の派遣に係る契約にあたっては、あらかじめ「比較対象労働者の待遇に関する情報提供」をいただくことになりました。

派遣労働者の公正な待遇の確保に、ご理解・ご協力をお願いいたします。

詳しくは窓口のシルバー人材センターまで、お問い合わせください。



賛助会員 大募集!

特典

HPへの
バナー掲載

月刊誌の進呈

機関誌への
広告掲載

ほか

〈年会費〉1口 1万円
※詳細はお問い合わせ
ください。

賛助会員のご紹介

シルバー人材センターの趣旨に賛同し、
応援して頂いている団体様です。



平成16年に6町村
が合併し誕生した雲
南市の高齢化率は、
39.19%（令和2年7
月末現在）で、人口
減少や少子高齢化が
進む中、地域課題の
解決に向け、市民と行政の協働による
まちづくりに取り組んでいます。

令和2年3月には、保健・医療・福
祉の分野における新たな5年間の取
組み指針となる「第4次雲南市総合保
健福祉計画」を策定し、「誰もが支え
あい健やかに暮らせるまち」を目指し
ています。とりわけ、高齢者の皆様が
豊富な経験を活かしながら、就労や社
会参加することで活躍の場を広げ、生
きがいを持って暮らすことのできるよ
う、雲南市シルバー人材センターをは
じめ、関係機関と協力し、取り組みを
進めてまいります。



編集後記

新型コロナウイルスの
感染拡大を機に、社会全
体が大きく変化しまし
た。本文にありましたと
おり、シルバー人材セン
ターに寄せられる依頼に
も「新しい生活様式」を踏ま
えた内容が増えています。

このような中、今号では、シ
ルバー人材センターの特長で
ある「臨・短・軽」の働き方（II
プチワーク）が、子育て分野で
お役に立っている事例を中心
にご紹介しました。

コロナ禍においても、子育
てをはじめとした暮らしを支
えるエッセンシャルワークの
分野では感染防止対策を徹底
した上での継続的な事業活動
が求められており、地域に密
着したこれらの企業等のご依
頼に、シルバー人材センタ
ーでは「シフトの細分化」や「業
務の選別・切り出し」を行う
ことできめ細かく対応してい
ます。

自然豊かな雲南の地で子育
てに励むコウノトリ。赤ちゃ
んや幸せを運ぶ鳥として広く
浸透しているコウノトリのよ
うに、シルバー人材センタ
ーも次世代を育むお手伝いをし
ていきたいと考えています。

公益社団法人 島根県シルバー人材センター連合会

〒690-0887 松江市殿町8番地3 タウンプラザしまね2階

TEL.0852-28-1171 FAX.0852-28-1173

E-mail shimane-ren@sjc.ne.jp

HP http://webc.sjc.ne.jp/shimane/